



RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE
2025.6.2



みなさん、こんにちは。ボランティアコーディネーターの齋藤です。
桜が咲いたかと思えば、いつの間にか葉桜になり、最近は夏のような気温に…。季節の移ろいを味わう暇もなく、時間が過ぎていっているような気がします。。
そんな4月から5月にかけては、「ボランティア論」「SDGs×AI×経済×法」「大学生の学び・社会で学ぶこと」「Exploring Children's Literature」など、さまざまな授業でお声がけいただき、ゲストスピーカーとして登壇させていただく機会をいただきました。

「大学生の学び、社会で学ぶこと」の授業では、一方的に情報をお伝えするのではなく、いくつかの問いに対して共に考える時間を設けました。

その問いの一つが、「大学生がボランティア活動をする意義って何？」です。「大学生になったらボランティアをしてみたいと思っていました！」「大学生のうちにボランティアをしておきたいんです」、ボラセンに相談にくる学生がよく話しています。さらに、ボランティア募集の情報をお寄せいただく地域の方々も、「学生さんに来て欲しい」とよく言います。

なぜ大学生という時期と、ボランティア活動とを結びつけたいのでしょうか。高校時代や大学卒業後との違いが、何かあるのでしょうか？

授業中、前述の問いに対して、ある学生は「大学生は暇だから」と回答しました。「暇な時間って多いんですか？」と私が全体に問いかけると、皆一生懸命に首を横に振ります。…暇、ではないようです。他の学生は、「大学生になると時間が増えるから」と回答しました。「実際、高校時代に比べて時間は増えましたか？」と聞くと、首を横に振る学生もいれば、縦に振る学生もいて、それぞれで事情が異なるようでした。

いずれにしても、自分の時間とボランティア活動に要する時間を結びつけて考えていますね。
たしかに、大学生対象のアンケートを複数見ても、「ボランティア活動をしない(できない)理由」について、「時間がないから」という回答が目立ちます。
「時間があれば、ボランティア活動をしたい」と考えている学生は少なくないのかもしれませんが。

さらに、他の学生は、「大学生は自由な時間が多いから」と回答しました。
これは、前述の時間の捉え方とは少し違うようです。「高校時代や大学卒業後の生活に比べて、“自

分で優先順位を決めて”、”自分の裁量で調整できる時間”が多くある」という考えに、多くの学生が頷いて納得していたように見えました。

みなさんは、大学生という時間の価値をどのように考えますか？

ボランティア活動の参加の第一歩は、自分の中にある「やってみたい！」という気持ちから始まります。

何を選び、どこに足を運び、誰と出会うのか。今しかできないことってなんだろう？

いろいろ悩みながら、一歩を踏み出してみてください！

齋藤 元気

(池袋キャンパス ボランティアコーディネーター)

各コンテンツの詳細や写真は、ボランティアセンター公式【note】からご覧ください！

https://note.com/rikkyo_volunteer/n/nada165cf5665

**** 今月の CONTENTS ****

■ボラセンからのお知らせ

- 【1】伝統の立教キャンプ！「農業体験 in 山形県高畠町」の募集説明会を開催します！
- 【2】学生の立場から、立教生と地域をつなぐ「学生コーディネーター」の4期生募集します！！
- 【3】*先着 20 名限定*「ボランティアコーディネーション力3級検定」の受験料の補助を今年も実施します！

■RSL センターからのお知らせ

- 【1】体験！RSL 荒川清掃活動体験！一河川ごみ・海洋ごみはどこから？
- 【2】RSL-ウィーク実践系科目の魅力、まるごとお届け！
- 【3】RSL-Café-先輩学生&スタッフが語る RSL の魅力-(新座キャンパス)

■陸前高田サテライトからのお知らせ

- 【1】陸前高田サテライト援助金制度を利用して、岩手県陸前高田市に行ってみよう！
- 【2】立教大学陸前高田サテライトが開設されました！

■□■ 巻末コラム ■□■

皆さん、大変ご無沙汰しております。社会学部の川畑と申します。

今年のコラムの時期が久々にきました。

事情(研究プロジェクトと実家案件)により九州地区にすることが多いのですが、そこで学生に戻った気持ち！でボラ活スタートをしております。九州にいと、もう大学の教員でもなんでもない、ただの人間に戻ってしまうのです。

新鮮な気持ちになれるので良いのです。

まだ、地域のイベント広報、名簿作り・・・新聞作りや行政との連携が不慣れであわあわして結局近隣のお爺さんお婆様、さらには子供達にまでフォローを受ける始末ですがなんとかやっております。笑
いつか皆さんに報告できる日が来るといいな・・・。

立教 VC 拠点から離れても心は同じくして！が大事ですね。そうすると、不思議なこともあるもんです。
遠く離れた人の気持ちにはっと気がついて、連絡してみたら話が通じた！だったり。人の感情、気持ちの持ち方次第で遠くまで行けちゃうって面白い話なのと、便利な時代になったなあと思つづく思います。
生成 AI にも驚かされてばかりです。でも便利な分、私たちは「できること」が増えてしまってさらに忙しくなっていないかしら？なんて思うこともあります。

そう。今年も暑くなりそうです。とにかく自分の身体が一番大事なので、暑い！きつい！と思ったら無理はしないことです。自分の心、身体を大事にしないと、他者への労わり方もわからないものです。でも、そればかりでなくさまざまな経験を知って痛みや苦しみも分かち合って、何ができるか？っていうことがわかることももちろんあります。

人生は出会いと学びの連続ですね。知らない、わからない！どうしたらいいだろう！

何ができるんだろう！と思ったら、とりあえず日常話でもしてみる。天気の話でもしてみる。

「あー。雨がやまないですねえ～」「暑いですねえ～。」

そこからでも突然、化学反応があるのが人間関係でございます。

締めにおすすめの俳句を一句

種田山頭火よろしく

...

雨ふるふるふるさとははだしであるく

あめふるふる ふるさとは はだしであるく

(雨が降る降る、故郷は裸足で歩く)

...

川畑 泰子(ボランティアセンター副センター長／社会学部准教授)

立教大学ボランティアセンター

池袋キャンパス(5号館1階)・新座キャンパス(7号館2階)

開室時間：月～金 9:00～17:00

▼ボラセン Web ページ

http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html

▼メールアドレス

volunteer@rikkyo.ac.jp

▼X (@rikkyo_volucen)

http://twitter.com/rikkyo_volucen/

▼Instagram

https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja

▼note

https://note.com/rikkyo_volunteer/

▼YouTube

https://www.youtube.com/channel/UCo5eBf_CcveSsRAccG5rrzw

配信停止を希望の場合は以下の Google Form を送信してください

<https://forms.gle/PRuubMtYvuHVfKoG8>

(C)2019 RVC all rights reserved.
